

日本体育大学 vs 中央大学

11月24日(日)
11:30K.O.
味フィ西

残留に向けて、かなり苦しい立場に追い込まれた日体大。前節は首位・専大との対戦。前半4分に先制点を奪い、その後はしっかりと守っていたが、最後の最後まで耐えることができなかった。

「後半33分まで耐えていたが、一つのミスで失点した。すごくもったいない失点だった」(倉又寿雄監督)

確かにミスからの失点は非常にもったいなかったが、それでもまだ同点だっただけに、何とか引き分けに持ち込みたかったが、45分に逆転を許し勝点1すら失った。「残り10分ぐらいのところできにしっかりと自分たちのサッカーをして、あわよくば追加点を挙げたり、失点せずに終わられるかということに詰めていかないと次も難しくなると思う」(倉又監督)

残留争いをしている他のチームは前日に試合が終わっているだけに、すでに降格が決定したり、残留への条件がかなりハッキリした形で試合に臨むことになる。

「どんな状況になっても、最後まで日体大らしいサッカーを見せられるように、頑張っていきたい」(倉又監督)

18節から3試合連続で2点リードを追いつかれた中大。その不安があったわけではないだろうが、前節の前半は逆にスローなスタートだった。

「出だしが悪すぎた」(白須真介監督)

というように前半34分とアディショナルタイムに失点してしまい、前半で2点のビハインド。後半9分に1点を取って追撃態勢に入ったが、結局、そのまま1-2の敗戦となってしまった。

「後半は立て直していたので、そのイメージを大切にしたい」(白須監督)

しっかりと90分間、自分たちの戦いを披露したい。
出場停止:阿部潤、宮内啓汰(以上日体大)、細見諒(中大)

前回の対戦:日体大1-0(シュート数7-6)中大

日体大		中大	
5. 中西	17. 小城	14. 古橋	2. 古賀
4. 菊地	9. 田中		24. 岡崎
	10. 稲垣		8. 田辺
21. 大野		11. 川越	25. 渋谷
	6. 石井		34. 山田
13. 川田	11. 北脇		12. 小出
24. 横野	22. 小山	7. 砂川	6. 高瀬

専修大学 vs 早稲田大学

11月24日(日)
13:50K.O.
味フィ西

すでに優勝を決めた専大だが、インカレに向けてさらに成長する姿勢を見せている。今シーズンを通しての課題はディフェンス陣だが、

「センターバックがなかなか定まらず、相手ペースで試合が進んでしまった」(源平貴久監督)

というように、前節の日体大戦も厳しい展開。前半4分に失点してしまった。それでも後半33分に同点に追いつくと、45分には逆転に成功。底力を見せつけた。

「交代した選手たちが活躍し、そのまま逆転できたことはよかった」(源平監督)

後半20分から出場した佐藤遼樹(1年)が2アシスト。同じく途中出場の北出雄星(2年)、山川翔也(2年)がゴールを決めるなど、途中出場選手の活躍はインカレにつながるだろう。

「味フィ西での最終節で他のチームが見ているので、優勝チームとして恥ずかしくないゲームをしたい」(源平監督)

20節で専大の優勝が決まり、早大の2位も確定してしまった。その早大の前節は桐蔭大とのゲーム。

「シーズンを通してリーグ戦優勝を目指して戦ってきている中で、その優勝の可能性は消えてしまったが、自分

たちがプレーヤーとしても人間としても“FIRST”であることを戦いぶりで証明しようと臨んだ。それを示すことができなかったのが非常に残念」(古賀聡監督)

桐蔭大を相手に2点を奪ったものの3失点。まったくいいところを出せなかった。

「このままの状態では王者・専大と戦う資格はないと思うので、今、この瞬間から“WASEDA THE FIRST”にふさわしい取り組みをしていきたい」(古賀監督)

早大らしさを出せるか。
前回の対戦:専大2-1(シュート数6-6)早大

専大		早大	
	12. 小口	7. 近藤貴	2. 奥山
44. 中村			
	23. 佐野	10. 榎本	13. 田中
	8. 下田		5. 池西
1. 福島	6. 河津	7. 長澤	21. 阿部
	14. 星野		4. 中田
38. 飯田	10. 仲川	25. 宮本	3. 金沢
	2. 北爪	8. 近藤洋	6. 三竿

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.22 Division1



編集:加茂郁実 発行:関東大学サッカー連盟 協力:関東大学サッカーサポーターズクラブ

インカレ出場、1部残留を巡って最終節まで大激戦!

20節で専大の優勝が決まった「JR東日本カップ2013 第87回関東大学サッカーリーグ戦」だが、インカレ出場枠(5位+流経大+ブレオフ出場)や残留をかけての戦いは熾烈極まりない。前節を振り返ってみよう。

優勝を決めた専大は、残留に必死な日体大との対戦。前半4分に先制点を奪われたが、後半33分、45分にゴールを奪って2-1で勝利を収めた。日体大は勝点を伸ばせず、窮地に追い込まれた。

2位が確定している早大は桐蔭大とのゲーム。前半20分に先制点を奪われ、29分に一度は追いついたものの、後半20分、23分に失点。31分に1点差に詰め寄ったが2-3で敗れ、終盤は勝ちきれない試合が続いている。桐蔭大は1部残留を確定させた。

残留争いの渦中にある順大は、後半戦負けなしの国士大との一戦だったが、前半31分に先制点を奪うと後半にも3ゴール。4-0で国士大を破り、残留に一歩近づいた。国士大はインカレ出場を確定できなかった。

明大と筑波大の上位対決は、前半41分に明大が1点を奪い、無失点で1-0の勝利。明大は3位に浮上。一方の筑波大は6位と、インカレ出場に向けて微妙な立場だ。

同じくインカレ出場に向けて負けられない中大と流経大の一戦は、流経大が

得点ランキング

仲川 輝人(専大)	15点
長澤 和輝(専大)	12点
榎本 大希(早大)	10点
武藤 嘉紀(慶大)	10点

アシストラランキング

橋本 拓門(国士大)	7アシスト
仲川 輝人(専大)	6アシスト
以下5アシスト6人	

前半に2ゴール。後半に1失点したものの、2-1で中大を下し5位に浮上した。中大はインカレ出場に黄色信号がともった。

慶大と東洋大の残留争い直接対決は、東洋大が前半31分に先制点を奪ったものの、後半に3ゴールを挙げた慶大が逆転勝利。慶大は残留圏内の10位に浮上。東洋大は非常に厳しい状況に追い込まれた。

4チームに降格のピンチがあるが、順大は筑波大、慶大は流経大、日体大は中大、そして東洋大は国士大とそれぞれ対戦。どのような結果になるのか!?

また、得点王争いは仲川輝人(専大・3年)がトップ。アシストは橋本拓門(国士大・4年)がトップだが、規定は11アシスト以上にだけに厳しいかもしれない。こちらの個人タイトルにも注目だ!

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	明大	国士大	流経大	筑波大	中大	桐蔭大	順大	慶大	日体大	東洋大	試合数	勝数	敗数	引き分け	得点	失点	得失点差	勝点
1	専大	201	401	201	203	201	502	602	201	601	100	301	21	15	3	3	53	24	29	48	
2	早大	102	201	201	300	100	201	100	001	201	100	100	21	10	6	5	34	30	4	36	
3	明大	104	102	201	003	103	202	203	202	201	302	302	21	8	7	6	30	25	5	31	
4	国士大	102	102	102	102	201	101	201	001	005	203	001	21	9	4	8	33	33	0	31	
5	流経大	302	003	000	101	101	000	103	000	301	002	100	21	8	7	6	26	28	-2	31	
6	筑波大	004	300	104	102	101	101	201	100	202	1123	301	200	21	8	6	7	35	27	8	30
7	中大	102	001	000	102	101	101	002	100	301	102	302	505	21	7	7	7	37	29	8	28
8	桐蔭大	206	101	203	100	301	001	101	101	200	100	001	101	21	8	3	10	28	41	-13	27
9	順大	004	302	味フィ西	005	001	104	102	201	401	000	003	21	6	6	9	36	31	5	24	
10	慶大	102	100	104	500	000	103	002	203	201	401	101	201	21	7	1	13	28	50	-22	22
11	日体大	001	102	002	102	たつこの	003	106	104	100		301	21	5	6	10	24	33	-9	21	
12	東洋大	101	203	203	102	001	505	101	201	202	102	103	21	5	4	12	30	43	-13	19	

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

自分のフィールドを探そう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

RECRUIT

筑波大学 vs 順天堂大学

11月23日(土)
11:30K.O.
味フィ西

現在6位と、インカレ出場に向けて微妙な順位にいる筑波大。ケガ人、出場停止などでベストメンバーが組めない中、前節の明大戦は0-1の敗戦となった。

「自分たちがボールを持って攻めるサッカーをすることに関しては、変わらずやる事ができていたのですが、全体としてはそんなに悪くなかったと思う。ただ、自分たちが決めきれなかったこと、相手に一発で決められてしまったこと。そこは差が出てしまった」(桑原鉄平コーチ)

ボールを持っていてもチャンスを決めることができなかったり、攻撃自体がやや淡泊になってしまい、シュート数も7本とやや少なかった。

「インカレ出場に向けたプレーオフの可能性など、そういうことはあまり考えずに、まずはこの1週間、しっかりとトレーニングがしたい。自分たちがボールを持って、攻め崩すことができるトレーニングをして、土曜日のゲームを迎えることができれば、結果はついてくと思う」(桑原コーチ)

リーグ終盤、苦しい戦いが続いた順大。残留に向けて厳しい戦いが続いているが、前節は後半戦負けなしの国士大を相手に4-0の完勝。

「明大戦、早大戦の後半のような流れが、1試合継続してできていたことが勝因。守備が安定していた」(吉村雅文監督)

守備を徹底してやってきたが、ここに来て成果が上がっているだけに、残り1試合でもこの戦いをして1部残留を成し遂げたい。一方で、攻撃は、「せっかくボールを奪っても、きちんとつなげることができない。そのときの判断が遅い。もう少しいい配球をしていかなければいけない」(吉村監督)

前回の対戦：筑波大3-1(シュート数14-8)順大

筑波大		順大	
12. 三丸	13. 曾山	10. 井村	3. 清水
5. 車屋	19. 若杉		5. 新井
	3. 谷口		14. 長谷川
1. 神倉		11. 原田	15. 青木
	7. 葦本		8. 天野
17. 西村	23. 吉川		13. 宮本
18. 早川	25. 武内	7. 和田	12. 友澤

東洋大学 vs 国士舘大学

11月23日(土)
11:30K.O.
たつこの

現在最下位の東洋大。最終節で自分たちが勝っても、他のチームの結果次第では1年での2部降格が決定してしまう。その東洋大の前節の慶大戦は、1-3の敗戦。

「お互いにとって勝利が必要だった試合の中で、技術や戦術以外の部分も求められる試合だったと思う。その中でこちらが勝利を取れなかったというのは残念」(古川毅監督)

前半31分に先制点を奪ったが、後半は3失点。「ゲームが落ち着くまではシンプルにプレーして、落ち着いたら自分たちのペースでボールを大事にしようという思惑の中、前半は自分たちが主導権を握ってやれていた。幸運な形で先制点を奪って、試合を優位に進められていたうちに追加点を取っていれば……」(古川監督)

「われわれは勝点3を取れなかった時点で終了となってしまふ。残された残留への可能性を高める作業をしなければいけないと思っている」(古川監督)

後半戦、負けなしと好調だった国士大だが、前節は残留に必死の順大の前に0-4の大敗を喫してしまった。しかし、

「このような結果になるとききたかという感じ。同じぐらいの力を持ったチーム同士の対戦のため、負けないということではできないと考えていた。原因はたくさんあると思うが、この辺でもう一度負けた悔しさを味わうのは有意義なこと」

と、細田三二監督は冷静に分析した。「最後まであきらめずに得点を奪おうとしていた。点を取ろうという意欲があったのはよかった」(細田監督)

前回の対戦：東洋大1-2(シュート数9-8)国士大

東洋大		国士大	
16. 筑井	29. 仙頭	26. 佐々木	2. 石川
5. 藤井	8. 年森	16. 平松	13. 仲島
			20. 松本
1. 浅沼	4. 郡司	13. 川森	
			21. 久保田
	10. 桑田		7. 橋本
6. 石川		10. 新村	4. 今瀬
7. 馬渡	11. 黒須	14. 進藤	12. 加藤

桐蔭横浜大学 vs 明治大学

11月23日(土)
13:50K.O.
味フィ西

早大に勝って、残留を確定させた桐蔭大。

「内容的にすごくいいサッカーではなかったが、みんなの頑張りが出ていて、結果を出せたことを誇りに思うし、すごくうれしかった。全員がハードワークして戦えたことがよかった」(八城修監督)

先制点を奪いながら、ミスから失点し同点に追いつかれてしまうなど、決して盤石な戦いではなかったが、それでも粘り強く戦えたことが大きい。早大を相手に3点を奪ったことも自信につながるだろう。

「開幕戦は味フィ西で専大に2-6で敗れた。最終節を味フィ西で戦えるのでうれしく思う。2-6で敗れたところから、どのぐらい成長したのか見せられるように全力で頑張りたい」(八城監督)

前節、筑波大を1-0で下して3位に浮上した明大。インカレ出場にはまだ安心できないものの、一歩前進といったところ。

「勝点3が欲しかったので最高。一番好きなスコアで勝てたのでよかった」

と、神川明彦監督もほっと胸をなで下ろした。

「押し込んでいても点が取れなければ、攻撃されたときに守備のリズムができあがっていないから崩されてしま

う。でも、そういう場面があったあと、すぐに修正、対応して、そのあと得点することができた。前半に1点取れたのは大きかった」(神川監督)

これまでの明大はなかなかリズムに乗りきれないことが多かったが、この試合は我慢からリズムをつかむことに成功。後半は押し込まれる場面もあったが、そこでもしっかりと耐えた。

守備はかなりよくなってきているだけに、攻撃であと一歩、ランクアップさせたい。

前回の対戦：桐蔭大2-3(シュート数3-9)明大

桐蔭大		明大	
16. 長谷	9. 大泉	34. 田中	12. 室屋
4. 古澤	20. 今関	33. 苅部	3. 山越
	6. 福島		6. 水野
1. 島崎			1. 三浦
	35. 大野		16. 差波
3. 香西	10. 坪井	8. 和泉	4. 小出
18. 剣	8. 山崎	27. 石原	15. 高橋

流通経済大学 vs 慶應義塾大学

11月23日(土)
13:50K.O.
たつこの

すでにインカレ出場権を持っている流経大だが、前節、中大を2-1で下して、リーグ戦でもインカレ出場圏内となる5位に入った。総理大臣杯で優勝した流経大だったが、後半戦はなかなか波に乗れず苦しい戦いが続いていた。それでもメンバーを入れ替えながら戦い、終盤にきて結果を出した。

「ここ5試合、2引き分けの後に3連勝している。苦しい中でも勝っていると思う。チームの状態は上向きだが、中大戦を2-0で終わらせるか、ダメ押し弾で3点取って相手の意欲を喪失させる展開にしたかった」(中野雄二監督)

「この試合、さらに上を目指す。インカレ前最後の公式戦になるので、負けていない状況を持してインカレに入りたい」(中野監督)

後半戦の序盤はなかなか結果が出せず苦しい戦いが続いていたが、終盤にきて力を発揮した慶大。前節は残留争いの直接対決・東洋大との一戦だったが、先制点を奪われながらも3-1で勝利を収めた。しかし、これで決して安心というわけではない。この最終節の結果いかんでは降格する可能性もあるだけに、このゲームもしっかりと勝ちきらなければいけない。東洋大戦は風の関

係もあって後半勝負で臨んだ。前半に1失点したものの、後半に3得点。

「プランどおり。ハーフタイムには前半以上にハードワークして、逆転しようと話をした」(須田芳正監督)

その指示どおりに選手たちがハードワークし、貴重な勝点3を手に入れた。残りはこの試合のみ。

「最後の最後なので、悔いを残さないように戦いたい。今の目標である残留に向かって勝利あるのみなので、全力でこの1週間、準備していきたいと思う」(須田監督)

前回の対戦：流経大3-1(シュート数9-7)慶大

流経大		慶大	
2. 湯澤	40. 川崎雄	2. 岩田	19. 溝瀨
39. 塚川		9. 平戸	22. 久保
	25. 古波津		20. 端山
1. 八巻	33. 山岸	36. 富樫	
	7. 中山		8. 松下
5. 川崎裕		10. 武藤	13. 望月
35. 佐々木	10. 椎名	5. 増田	4. 保田

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想